



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進



旅たちの日にあなたへ

3年生の皆さんが卒業すると、昨日まで当たり前のようであった「仲間と過ごすにぎやかな時間」が、ふっと静けさに変わります。皆さんの笑顔が、この学校や教室から見えなくなるとすると、やっぱり胸の奥が少しさみしくなります。今回は、“旅立ちの日にあなたへ”贈る卒業特集号です。

2年前の4月、私は偶然のように皆さんと出会い、校長として一緒に過ごしてきました。この時間を振り返ると、本当にたくさんの思い出がよみがえってきます。皆さんの成長はめざましく、驚いたり、うれしくなったり、心が動く瞬間が何度もありました。「大人になったなあ」と感じる場面もたくさんありました。私の思う“大人”とは、物事を自分のこととして受け止め、行動し、責任を果たせる人。そして、失敗や間違いもきちんと受け止め、誠意をもって向き合える人です。皆さんは確かに、その姿に近づいています。

△△さん、あなたの落ち着いた態度や姿勢は、みんなのお手本でした。授業では積極的に取り組み、明るく、時には楽しさもあふれていましたね。〇〇さん、広島で見せた真剣なまなざし、平和を願う気持ちがしっかり伝わってきました。

最上級生として迎えた第51回若鮎祭では、いろいろな場面で頼もしいリーダーシップを見せてくれました。★★さん、太鼓の演奏、本当にかっこよかったです。◇◇さん、劇団道志中ミュージカル「ライオンキング」、あの堂々とした姿、忘れられません。

そして進路選択では、自分の進路を自分で決めることの難しさや大切さを、きっと実感したことでしょう。☆☆さん、納得のいく選択でしたね。これからも、自分の夢に向かって、選んだ道を信じて“前へ、前へ”と進んでいってください。

ところで、校長の私は、少しは皆さんの役に立てたでしょうか。私は「人が自分の素晴らしさに気づき、自分の力で輝いていく姿」を見るのが大好きです。他の誰かに変えられるのではなく、自分で自分を変えていく生き方です。皆さんがキラキラと輝くための応援が、どれくらいできたのか…その答えは、これからの皆さんの姿が教えてくれるのだと思っています。

保護者の皆様へ

三寒四温の言葉どおり、少しずつ春の気配が感じられる季節となりました。このよき日に道志中を巣立っていく生徒たちは、本当に幸せだと感じます。お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。

9年間の義務教育を終え、新しい舞台へ踏み出すこの日は、本来なら喜びに満ちた日です。しかし、少しずつ荷物が減っていく教室を見ると、喜びよりも寂しさが先に立ってしまいます。それでも、そんな思いが残るほどの出逢いができたことは、私たちにとって大切な宝物です。

中学校生活の中で、子供たちは外見も内面も大きく成長しました。まっすぐに伸びるばかりではなく、時には大人（保護者や教員）と、また子供同士でぶつかることもあったでしょう。そんな日々の中で、“自分らしさ”“人とのつながり方”“未来の見つめ方”を学んでくれたのだと思います。まだ学びの途中であることを胸に、新しいステージでそれぞれの力をさらに伸ばしてほしいと願っています。

特にこの一年、保護者の皆様は進路について落ち着いた日々を過ごされたことと思います。私たちは「最終的には本人が決める」を大切にし、「子供の気持ちを第一に」を心に置いて進路指導にあたってきました。いかがだったでしょうか。

子供たちは、自分の進路を自分で決め、しっかりと大人への一歩を踏み出しています。その卒業を、保護者の皆様とともに心からお祝いしたいと思います。

勇者ヒンメルは言う。別れは“また会える未来”

最後になりました。3年生の皆さんへ、「ありがとう。そして、さようなら」と伝えたいです。“別れ”は、“別の道への第一歩”です。

ところで、ある物語の中で、勇者ヒンメルは「涙の別れなんて僕たちには似合わない。だってまた会ったときに恥ずかしいからね」と言います。別れを悲しみだけで終わらせず、“また会える未来”を想像するその姿勢が清々しいです。※ある物語「葬送のフリーレン」

いよいよ第79回卒業証書授与式。外は春の日ざしか、あるいは雨や雪かも。それでも、旅立ちの日を迎えた皆さんの心は、晴れ晴れとしていることでしょう。

“本日は晴天なり”……お元気で。